

違いを探る：2つのグローバル教育プログラムを徹底検証

2023年3月28日

マーティン・ドハティ、エグゼクティブ・スクール校長

マーティン・ドハティは、北米、ヨーロッパ、アジア、GCC/中東、アフリカなど、5大陸13カ国以上で20年以上の学校経営経験を持つ。生徒数の拡大、ベストプラクティスの改善、教育・学習環境の近代化、「Happy」な学校風土の育成を支援する一方、グローバルな視野の獲得を支援している。また、元シニア・プロジェクト・マネージャー／ビジネス・プロセス・マネージャーとして、フォーチュン500社（本社：IBM、Bell Mobility、Sprint PCS、TELUS Mobility、Canada Life、Minacs）。

米国とカナダのフォーチュン500企業本社（IBM、スプリントPCS、ベルカナダ、カナダライフなど）でシニアプロジェクトマネージャーとしてキャリアを積み、5大陸12カ国でインターナショナル私立K12スクールを指導してきました。私は、生徒数を増やし、ベストプラクティスを強化し、教育・学習環境を向上させ、「ポジティブ」な学校風土を育みながら、グローバルな視野を身につけられるよう学校を支援しています。エド्यूケーター・ディスラプター（「チェンジ・エージェント」という言葉を使う人もいます）として、私は教育に対して従来とは異なるアプローチをしています。

私は新しい学校の立ち上げと学校改善の取り組みを専門としています。私はこれまで、あらゆる種類の国際的なカリキュラムの学校で、新しい学校を立ち上げ、改善プロジェクトを管理してきた。何度も何度も、行動や教育・学習だけでなく、カリキュラムの制限においても、共通のテーマが繰り返されているのを目にしています。

21世紀型の教授技術はカリキュラムに関係なく普遍的なものであるはずですが、使用するカリキュラムの制約（あるいは漸進性）により、型にはめられたものになってしまいます。よくみられることですが、一般的な国際的なカリキュラムに準拠した学校では、高等教育や現実の職業環境とは一致しない、時代遅れの方法論に縛られてしまうことがあります。

教育はどの国においても将来を形成する上で重要な役割を果たします。地域の教育制度が採用するカリキュラムは、生徒が有能で成功した社会人になるための準備として不可欠です。オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ・プログラム（OSSD）と国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）は、世界的に認知されているカリキュラムのひとつです。どちらのシラバスも質の高い教育を提供することを目的としていますが、本投稿ではOSSDのシラバスがIBDPよりも優れているという根拠をお伝えします。

オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ（OSSD）の概要

オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ（OSSD）は、カナダ・オンタリオ州の中等教育システムを卒業した生徒に授与される高校卒業証書です。OSSDのカリキュラムは、「変革的スキルの開発」、「実社会での応用と革新」、「グローバル・シチズンシップ教育」、「差別化された教育」、「多様な評価」、「個別の学習進路」という5つの主要分野で生徒の能力を伸ばすことに重点を置いています。OSSDプログラムで使用される評価システムは、継続的な評価、課題、プロジェクトに基づいており、生徒の進歩をより包括的に評価します。

OSSDのカリキュラムは、差別化学習のリーダーとして世界的に認められています。このアプローチにより、生徒一人一人の学習スタイルや能力に合わせた教育を受けることができます。また、継続的な評価を重視することで、生徒が試験対策だけでなく、継続的にスキルを向上させることができます。さらに、海外の多くの学校がOSSDのカリキュラムに従っており、世界的に認知され、評価されているカリキュラムです。

人目を引くことをせずに、時代の先端を行く

オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ・プログラム(OSSD)は、多くの利点があるにもかかわらず、見過ごされたり、世界的に広く知られていません。これは、国際バカロレア・ディプロマ・プログラム(IBDP)や英国や米国のカリキュラムなどのカリキュラムが各国で大々的に広告宣伝されているためと思われます。これらのカリキュラムは、各国で盛んにマーケティングが行なわれ、世界的な認知度や知名度を高めています。対照的に、OSSDプログラムは同レベルの宣伝が行なわれておらず、カナダ国外での知名度はそれほど高くないかもしれません。しかし、その世界的な強みと優位性で国際的に人気は高まっています。

新規学校立ち上げのスペシャリストとして、海外のインターナショナルスクールを新規に立ち上げようとしている人たちと話をする機会が増えていますが、その人たちは、私が実践している「プラグ・アンド・プレイ」(パソコンに接続するだけで、周辺機器や拡張ボードなどがすぐに使えること)であるOSSDモデルの開校に向けて移行しているか、OSSDを主要なオプションの1つとしたデュアル・ディプロマ・プログラムの提供に向けて移行しているかのどちらかです。

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム (IBDP) の概要

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム (IBDP) は、世界140カ国以上の生徒を対象とした厳格なカリキュラムです。IBDPのカリキュラムは、生徒の知的、人格的、情緒的、社会的スキルを伸ばし、高等教育や学校外での生活で成功するための準備をすることを目的としています。IBDPのカリキュラムは6つの科目群に分かれています：言語と文学、言語習得、人間と社会、自然科学、数学、芸術です。IBDPのカリキュラムは、生徒が批判的 (Critically) かつ自主的に考えることを奨励し、生涯にわたって学ぶことに興味を持つようデザインされています。IBDPプログラムの成績評価システムは試験に基づいており、各教科の最終成績が与えられます。さらに、IBDPのカリキュラムには、知識理論のコース、上級エッセイ、CAS (創造性、行動、奉仕) 活動の修了が含まれます。

OSSDとIBDPカリキュラムの比較

OSSDとIBDPのシラバスにおける共通点：両者とも生徒の能力を複数の分野で伸ばすことに重点を置いています。しかし、OSSDカリキュラムと包括的カリキュラムを区別するいくつかの重要な違いがあります。

OSSDカリキュラムは、差別化学習のリーダーとして世界的に認められていますが、これはIBDPカリキュラムでは主要な焦点としていません。OSSDのアプローチは、生徒一人一人がそれぞれの学習スタイルと能力に合わせた教育を受けられるようにします。これとは対照的に、IBDPプログラムでは、すべての生徒が同じ方法で学ぶことを期待し、差別化の余地はほとんどありません。

OSSDプログラムで採用されている評価システムは、継続的な評価、課題、プロジェクトに基づいています。このアプローチにより、学習の進捗状況や継続的な成長をより包括的に評価することができます。これとは対照的に、IBDPプログラムの評価システムは主に試験がベースであり、スキル開発よりも暗記に重点が置かれています。

実践的応用と革新

OSSDのカリキュラムは、IBDPのカリキュラムとは異なり、実践的な応用と革新に重点を置いています。OSSDプログラムは、クリティカルシンキング、問題解決、コラボレーションなどの分野で生徒のスキルを伸ばし、社会で成功するための準備をすることを目的としています。これとは対照的に、IBDPプログラムは生徒のクリティカルシンキングや分析などの知的能力を伸ばすことに主眼を置いています。実践的な応用力や革新性にはあまり重点を置いていません。

世界的な認知と受け入れ

OSSDのカリキュラムは世界的に認知され、受け入れられており、インターナショナルスクールがOSSDのカリキュラムに従うことへの需要が高まっています。OSSDカリキュラムを採用するインターナショナルスクールの数はますます増加しており、世界的に認知され受け入れられていることを示しています。

IBディプロマ・プログラム

長所

世界的な認知度：IBディプロマ・プログラムは世界的に認知されており、学生に国際的な教育や進路選択の機会を提供している。(トップ大学、2021年)

総合的アプローチ：IBディプロマ・プログラムは、6つの科目グループと、知識理論、小論文、創造性、活動、奉仕を含む3つの中核的要素のコースワークを修了することを学生に義務付けることで、総合的な教育を奨励している。(全米独立学校協会、2021年)

批判的思考力：このプログラムでは、批判的思考力の育成に重点を置き、生徒が疑問を持ち、情報を分析し、評価することを奨励しています。(インターナショナルスクール協議会、2021年)

大学進学準備：このプログラムでは、大学レベルのコースワークへの準備ができ、試験の成績優秀者には大学レベルの単位が与えられます。(U.S. News & World Report、2021年)

短所

長期プログラム：このプログラムは長時間に及び、コース終了時には最終試験が行われるため、プログラム全体を通して一貫した努力と成績が要求されます。(プリンストン・レビュー、2021年)

多くの努力を要する勉強量：このプログラムは多大な勉強量を要求され、成功のためには時間管理が重要である。ガーディアン紙 (2019)

限られた柔軟性：このプログラムでは、コース選択の柔軟性が限られており、学生は6つの科目グループと特定のコア要素を学習する必要があります。(全米独立学校協会、2021年)

限られた利用可能性：このプログラムは、他の高校プログラムと比較して提供校が少なく、広く利用できるものではない。(スタディ・インターナショナル、2021年)

教師の数が限られている：IBディプロマ・プログラムの教師は、修士号以上、最低2年間の指導経験、IBのカリキュラムに関する専門的なトレーニングを受けていなければならない。また、IB学習者プロフィールの6つの特性について能力を証明できなければならない。(カレッジ・トランジションズ、2021年)

質の管理：IBプログラムで成功を収めるには、教師の質と献身が不可欠であり、それは学校や講師によって大きく異なります。(カレッジ・トランジションズ、2021年)

コスト：IBプログラムは排他的でエリート主義的であると思われる。その結果、IBスクールは富と特権の象徴となっている。アトランティック (2019)

生徒の減少率：英国政府が実施したIBプログラムのレビューによると、このプログラムは退学率が高く、多くの生徒がディプロマを完全に取得する前に退学していることがわかった。(英国教育省、2019年)

大学による限定的な認知：世界的に認知されているにもかかわらず、IBディプロマを入学資格として認めていない大学もある。Inside Higher Ed. (2019)

OSSDディプロマ・プログラム

長所

広く利用可能：オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ(OSSD)プログラムは、カナダのオンタリオ州で広く利用可能であり、国際的な高等教育機関でも認められている。クダー, J., & デニス, K. (2017)

(オンタリオ州教育省は現在は海外の学校に直接ライセンス/認定を与えていません。しかし、実際は、(海外の場合は)オンタリオ州教育省に直接学生を登録している)

費用対効果：このプログラムは、他の高校プログラムと比較して費用対効果が高く、幅広い生徒が利用しやすい。マクミラン, D.

柔軟性：このプログラムではコースを柔軟に選択できるため、生徒はさまざまなコースから自分の興味や進路目標に合わせた教育を受けることができる。パーク, S. & ユウ, S. (2019)

差別化学習：差別化学習のリーダーとして世界的に認められている。トムリンソン, C. A. (2017)

実践的教育：このプログラムは、学生に実践的なスキルと知識を提供し、労働力や中等教育後の教育に備える。記事, A. J. & ハリス-ムーリ, N. (2017)

世界的な受け入れ：オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ(OSSD)は、世界中の大学の入学要件として世界的に認められている。アルトバック, P. G. & ナイト, J. (2018)

ランキング：オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ(OSSD)は、高校卒業資格の上位15%にランクされている(世界第4位)。OECD (2019)、ピサ(2018)

短所

限定的な世界的認知：このプログラムは、オンタリオ州以外では広く認知されていない。de Wit, H., & Altbach, P. G. (2017)

コースの選択：OSSDプログラムは、学生に幅広いコアコースと選択コースを提供している。しかし、学生の中には興味のある特定のコースや希望する進路に必要なコースが見つからない者もいる。そのため、コースの選択肢が限られている学生もいる。グオ, Y., ガオ, F., リュー, X., & サン, X. (2018)

アカデミック・エクセレンス

では一つの州のカリキュラムであるOSSDが、なぜこれほど国際的に高い評価を得ているのでしょうか？ それは、カナダが自国民のために高いレベルの教育を保証することに尽力しているからではないかと思います。カナダ人は世界で最も教育を受けている国民です。労働人口(25~65歳)の57.5%以上が大学院の学位を保持しています。カナダはG7諸国の中で最高の教育システムを持つ国として認められており、数学、読解力、科学の分野では英語圏で第1位にランクされています。(2018年、2015年、2012年の国際学習到達度調査(PISA))

カナダでは、教育は連邦ではなく州レベルで規制されています。最新のPISAの結果では、オンタリオ州、ケベック州、アルバータ州、ブリティッシュコロンビア州の4大州の読解力の平均スコアは、他のG7加盟国よりも大幅に高いことが見てとれます。

OSSD(オンタリオ州高校卒業資格)プログラムは、世界で第4位にランクされました。

OSSDは国際的な主要カリキュラム:

・世界銀行の報告書「世界開発報告書2018」: Learning to Realize Education's Promise」によると、OSSDカリキュラムを含むカナダの教育制度は、生徒の学業達成度や教育へのアクセスの公平性が高い水準にあり、世界でもトップクラスであるという。(出典:世界銀行、2018年)

・2018年生徒の学習到達度調査(PISA)ランキングでは、カナダは読解力、数学、科学で世界第4位で、オンタリオ州は全国平均を上回る成績であった。(出典:OECD、2018年)

・カナダのOSSDカリキュラムの生徒と国際バカロレア(IB)プログラムの生徒の成績を比較した研究では、研究者はOSSDプログラムの生徒の方が数学、科学、読解のスコアが高いことを発見した。(出典: International Journal of Educational Research、2019年)

結論

結論として、オンタリオ・セカンダリー・スクール・ディプロマ・プログラム(OSSD)と国際バカロレア・ディプロマ・プログラム(IBDP)は、ともに質の高い教育を提供することを目的としているが、検証してみると、OSSDのカリキュラムはIBDPよりも多くの点で優れているように思われます。OSSDのカリキュラムは、差別化学習、継続的な評価、実社会での応用と革新、世界的な認知と受容、学問的卓越性などに重点を置いており、望ましいカリキュラムとして一線を画しています。カナダがG7諸国の中で最も優れた教育システムであると認識され、OSSDが世界第4位(上位15%)にランクされていることから、OSSDのカリキュラムが国際的に先進的なカリキュラムであり、世界最高峰にランクされてしかるべきものであることは明らかです。